

個別業績予想の概要(対前回見通し比較)

収入面では、販売電力量の減少などにより、売上高は前回業績予想に比べ30億円程度減少し、6,670億円程度となる見込みであります。

支出面では、更なる経営効率化への取り組みや燃料価格の低下などによる費用の減少から、経常損益は、前回業績予想に比べ損失幅が50億円程度縮小し、130億円程度の損失となる見込みであります。

また、当期純損益は、改正法人税法が3月末までに公布された場合の繰延税金資産の一部取り崩しを織り込んだことにより、前回業績予想に比べ10億円程度減少し、収支均衡レベルとなる見込みであります。

(億円程度)

	27年3月期通期 今回業績予想 ①	27年3月期通期 前回業績予想 ② (平成27年1月30日公表)	増 減 ①-②
売 上 高	6,670	6,700	△ 30
営 業 損 益	0	△ 50	50
経 常 損 益	△ 130	△ 180	50
当 期 純 損 益	※ 0	※ 10	△ 10

※ 当期純損益は、前回業績予想では、前年度末まで保有していた繰延税金資産を昨年4月に全額取り崩し(190億円程度)したことにより、10億円程度の利益を見込んでおりましたが、今回業績予想では、新たに改正法人税法が3月末までに公布された場合の繰延税金資産の一部取り崩し(60億円程度)を織り込んだことから、収支均衡レベルとなるものと見込んでおります。

【経常損益の変動要因】

(億円程度)

好 転 要 因	悪 化 要 因
<ul style="list-style-type: none"> ■ 更なる経営効率化への取り組み 50 ■ 燃料価格の低下による燃料費の減 30 ■ 販売電力量の減少による燃料費の減 20 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上高の減 30 (販売電力量の減) ■ その他 20
差し引き 50億円程度 好転	

【当期純損益の変動要因】

(億円程度)

好 転 要 因	悪 化 要 因
<ul style="list-style-type: none"> ■ 経常損益の好転 50 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改正法人税法が3月末までに公布された場合の繰延税金資産の一部取り崩し 60
差し引き 10億円程度 悪化	